

連続講座

発達障害の子どもへの発達援助と集団づくり

講師：楠 凡之氏（北九州市立大学教授）

2013年	日程	テーマ	会場
第1回	3月17日（日）	5, 6歳～7, 8歳頃に視点を当てて	大津市・滋賀県人権センター光荘
第2回	5月19日（日）	9, 10歳～12歳頃に視点を当てて	大津市内
第3回	7月21日（日）	思春期に視点を当てて	大津市内

※講義内容は裏面をご覧ください

●タイムテーブル

- 9:30～9:35 開会の挨拶
- 9:35～12:35 講義（途中休憩あり）
- 12:35～13:35 昼食休憩
- 13:35～14:35 実践報告
- 14:35～14:50 休憩
- 14:50～15:55 討論と講師コメント
- 15:55～16:00 閉会の挨拶

※午後の時間はおよその目安です。

●受講料

1回	一般	5,000円
	人間発達研究所会員	3,500円
3回連続受講	一般	13,000円
	人間発達研究所会員	10,000円

※2日（回）の受講は、1回分×2となります。

●定員 各回100人

●会場 第1回 滋賀県人権センター光荘

※第2回、第3回の会場については決まり次第お知らせいたします。

- 交通 JR琵琶湖線「大津駅」より路線バス「湖岸経由石山駅」行、または「近江大橋経由草津西口」行乗車、「馬場1丁目」下車（220円）。「くら寿司」を左折。緑色の建物。バス停より徒歩約3分。JR琵琶湖線「膳所駅」よりは徒歩約15分（新快速は止まりません）。駐車場の確保が難しいため、お車でのお越しはご遠慮ください。

●申込方法

専用申込用紙か郵便局の払込取扱票に、受講する回、住所、氏名、ご所属を記入し下記にご送金下さい。受付完了後、受講票をお送りします。

口座 01080-4-26819 加入者名 人間発達研究所

●昼食について

各自ご用意下さい。会場は持ち込み飲食が可能です。近くにレストランもあります。

●キャンセルについて

メール、郵送、FAXにてお知らせ下さい。講義9日前まで（初回は3月8日）ご返金いたします。

講師紹介

楠凡之（くすのき・ひろゆき）氏

1960年、大阪生まれ。北九州市立大学文学部人間関係学科教授。全国生活指導研究協議会指名全国委員、北九州子育て支援と子ども文化ネットワーク代表、日本生活指導学会理事。

著書に、『自閉症スペクトラム障害の子どもへの発達援助と学級づくり』（高文研）、『いじめと児童虐待の臨床教育学』（ミネルヴァ書房）、『気になる保護者』とつながる援助——「対立」から「共同」へ』（かもがわ出版）など



それぞれの回に現場からの実践報告を準備しています。第1回の報告者は、宮本郷子氏（大阪府公立小学校教諭）です。質疑応答、討論など参加者同士の交流もあります。



シラバス

第1回 5, 6歳~7, 8歳頃に視点を当てて

幼児期から小学校低学年の自我・社会性の発達過程と発達障害

——自閉症スペクトラム障害(Autism Spectrum Disorder、略してASD)の問題を中心に——

1. 自閉症スペクトラム障害(ASD)について——DSM5の診断基準

A. 対人的コミュニケーションおよび対人的相互交流の障害

1. 対人——情緒的な相互性の障害
2. 対人的相互交流のために用いられる非言語的コミュニケーション行動の障害
3. 発達水準に相応した、仲間関係を築くことと維持することの障害

B. 行動、興味、及び活動の限局された反復的な様式

1. 常同的あるいは反復的な言語、運動、あるいは物の使用
2. 習慣や言語あるいは非言語的行動の儀式的パターンへの過度のこだわり、あるいは変化に対する過度の抵抗
3. 強度あるいは対象において異常なほどの限局的で固着した興味
4. 感覚情報に対する反応性亢進あるいは反応性低下、あるいは環境の感覚的側面に対する異常なほどの興味

2. 小学校低学年期のASDの子どもと歩む子ども集団づくりの課題

——お互いの成長や頑張りを認め合える発達の共感関係の創造——

第2回 9, 10歳から12歳頃に視点を当てて

1. 小学校中学年から高学年頃の自我・社会性の発達過程と自閉症スペクトラム障害

(1) 9, 10歳頃の自我・社会性の発達過程と自閉症スペクトラム障害

- ・ 2方向的、相互的な関係理解と自己客観視の成立
- ・ 「集団的自己」の誕生と自治の力の発達
- ・ ASDの子どもたちがこの時期に直面する発達上の課題

(2) 11, 12歳頃の自我・社会性の発達過程と自閉症スペクトラム障害

- ・ 親密な友情の形成と、違いのもう一歩深いところにある「同じ」の発見
- ・ 同性の親密な「私的グループ」の形成
- ・ ASDの子どもたちがこの時期に直面する発達上の課題

2. 小学校中学年から高学年頃の子どもたちと歩む子ども集団づくりの課題

(1) 小学校中学年期のASDの子どもと歩む子ども集団づくりの課題

——上からの価値や規範への「同化」ではなく、多様性が尊重される子ども集団づくり

(2) 小学校高学年期のASDの子どもと歩む子ども集団づくりの課題

——「違い」のもう一歩背後にある「同じ」を共有し、深い友情を育む子ども集団づくり

第3回 思春期に視点をあてて

1. 思春期の自我・社会性の発達過程と自閉症スペクトラム障害

- ・ 「自己形成モデル」を内面に取り込みながらのアイデンティティと未来像の模索
- ・ 既存の価値観を体現する大人との激しい対立や葛藤
- ・ 思春期のASDの子ども・青年の直面する発達上の課題

——「中1ギャップ」の問題、アイデンティティの危機の問題

- ・ ASDに対する不適切な対応によって生じる2次障害の問題

2. 中学校・高等学校におけるASDの子どもと歩む子ども集団づくりの課題

——自己責任と競争原理とは異なる「もう一つの価値の世界」の創造

主催・お問い合わせ 人間発達研究所 〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘1-4-39 梅田ビル3階

Tel/Fax 077-524-9387 E-mail j-ih63su@j-ihd.com

URL <http://www.j-ihd.com/>

※入会随時受付中 (年会費5000円, 入会金はありません)

